

一流の人に学ぶ 自分の磨き方

校長 黒川 弘 教

二学期が始まり、目標をもって始業式を迎えたことと思います。運動会・陸上大会・音楽発表会など行事が盛りたくさんの学期です。それぞれの行事を成功させるために下記の文「一流の人に学ぶ 自分の磨き方」を参考にして行動して欲しいと思います。

一流には、なかなか成れませんが、自分の生活を反省し、向上心をもって生活することが大切なことだと思います。共感する内容をいくつか抜粋して掲載しますので参考にしてください。

○ 一流の人は常に目標を念頭に置く

二流の人は念頭に目標を設定し、翌年までそのままにする。

一流の人は絶えず目標を設定し、その達成にこだわる。すべての業績の出発点が明確な目標から始まることを知っていて、毎日のように目標を振り返るのが、彼らの成功の秘訣の一つだ。

明確な目標を紙に書いている人は、国民全体の5%にすぎない。一流の人はその時点で二流の人よりはるかに優位に立っている。

二流の人は目標を忘れがちだ。

一流の人は毎日のように目標を潜在意識に刻み込む。彼らの心はまるで高性能ミサイルのようで、絶えず軌道修正しながら目標にたどり着く。

○ 一流の人は習慣を重視する

二流の人は、習慣とは断ちきるべきものだと考えている。たとえば喫煙や過食がそうだ。

一流の人は、習慣とは成功への道だと考えている。だから絶えず習慣を強化する。たとえば運動や摂生、早い出社がそうだ。

一流の人は習慣に秘められた大きな力に畏敬の念を抱いている。だから一日でも気をゆるめると、自分が墜落すると考えている。彼らは習慣の力を人生のすべての領域で活用する。二流の人は成功の土台となる習慣の力に気づいていない。

まず人間が習慣をつくり、次に習慣が人間をつくる。

○ 一流の人は快樂より規律を選ぶ

二流の人が「今日はこれくらいにしよう」と思うとき、一流の人は「まだ始まったばかりだ」と考える。

一流の人のモットーは規律を重んじることだ。規律の有無が一流の人と二流の人を分ける。

規律とは、どんな状況でも自分を律することだ。自分を律することで自信がつき、自尊心が高まる。そしてその自信と自尊心が、「その気になれば、何でもできる」という信念につながる。それは一流の人の習慣になり、習慣を通じて信念が現実が変わる。一流の人は気持ちが乗らないときでも物事をやり抜く決意をしている。彼らは感情に左右されずに、常にモチベーションを維持するすべを心得ている。

二流の人は規律を重荷とみなし、できるだけ避けようとする。

一流の人は規律を力とみなして、どんな時でも自分を律することを心がけている。

自分を律すれば、何でもできる。規律は成功のカギである。なぜなら、それは日々の過ごし方から決定するからだ。どんな状況でも自分を律することは、目標に意識を集中して一流のレベルで仕事をするのが不可欠である。

浅海ふるさと夏祭り2017



8月5日(土)、今年も浅海ふるさと夏祭りが開催されました。子どもたちもPTAの方々と共にお店のお手伝いやステージへの出演など、祭りの盛り上げに貢献し、忙しくも楽しい夜を過ごしました。

奉仕作業お世話になりました!



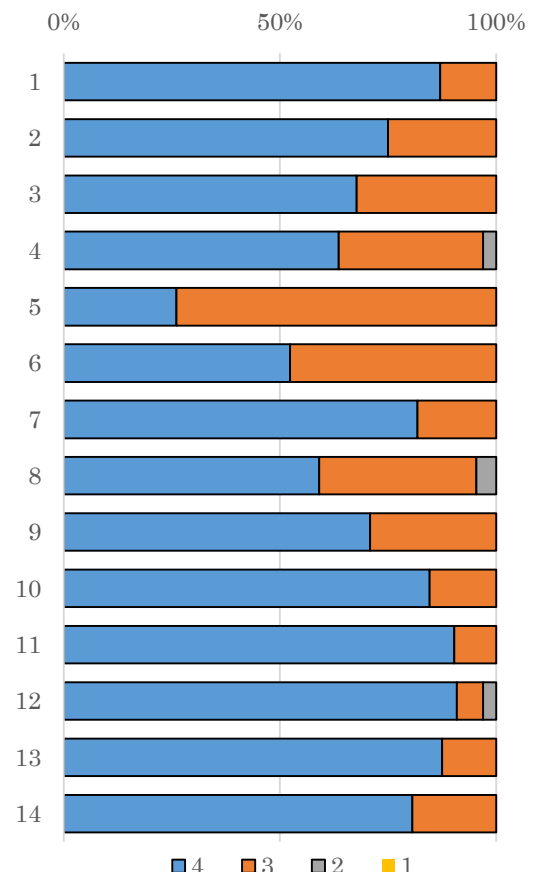
8月20日(日)、子どもたち、PTA、地域の方々と、校内の除草、剪定などの奉仕作業を行いました。暑い中トラックや機械を出していただき、とてもきれいになりました。本当にありがとうございました。

学校評価(地域)結果について

地域のアンケート結果(配布50部、回収34部、回収率68%)

番号	内容	29年度 1学期	判定
1	「豊かな心で主体的に活動する児童の育成」の実現に向け、組織的に取り組んでいる。	3.9	○
2	学校の行事や活動は楽しく充実している。	3.8	○
3	友達と仲よく楽しく生活している。	3.7	○
4	出会った時に、子どもたちは挨拶や会釈をしている。	3.6	○
5	子どもたちは進んで仕事をし、将来の夢をもって努力している。	3.3	△
6	一人一人が分かる喜び、友達と共に学ぶ喜びを感じる授業が行われている。	3.5	○
7	地域の特性を生かした体験的な学習や活動がある。	3.8	○
8	教材や教具、パソコンなどを有効に使った授業が行われている。	3.5	○
9	子どもや親の思いをしっかりと聞き、一人一人に応じた支援や指導が行われている。	3.7	○
10	教職員は熱心に研究や研修を行っている。	3.8	○
11	学校の施設は安全で安心して使える。	3.9	○
12	学校は環境美化に努めている。	3.9	○
13	学校便りやホームページで、教育活動を分かりやすく伝えている。	3.9	○
14	家庭・地域と学校は、互いに連携・協力している。	3.8	○
計	平均	3.7	

得点
4:よくあてはまる 3:ややあてはまる
2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない



平均で3.7と高い評価をいただいております。学校教育への温かいご理解とご協力に大変感謝しております。オレンジっ子クラブ、餅つき大会、浅海オレンジタイムなど、地域の方と交流を深めながら教育活動を推進することができました。しかし、仕事の大切さや夢をもつことに課題があり、今後は勤労の大切さや目標に向けて努力することができるよう、取り組んでいきたいと思っております。また、地域の方への挨拶については賛否両論あり、課題が見られることも事実です。今後も指導を充実し、地域の皆様と共にふるさと浅海のよさを生かした教育を推進していきたいと思っております。